



シェボイガン一行
(レイクランド大学訪問時)



SUMMER MEMORIES

ひと夏の感動滞在記 2011

サマー・メモリーズ

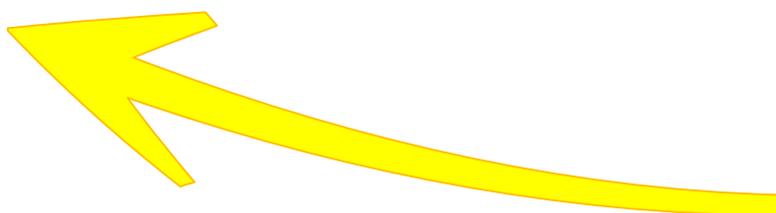
平成23年度 燕市国際交流事業 報告書

ブリスベン一行
(ゴニルドコニスト空港にて)



平成 23 年度 燕市国際交流事業報告書 目次

はじめに 燕市長 鈴木 力	2
シェボイガン派遣生体験報告目次 & スナップショット	3
シェボイガン日程表	4
シェボイガン派遣生体験報告	5
ブリスベン派遣生体験報告目次 & スナップショット	21
ブリスベン日程表	22
ブリスベン派遣生体験報告	23
参加者アンケート集計結果	45
広報紙で紹介した本年度の国際交流事業	53
随行職員のコメント	55



はじめに

燕市長 鈴木 力



インターネットの普及により、瞬時に外国の情報を手に入れることは容易になりました。しかし、その国の文化や生活習慣、考え方の違いなどは、実際にその国へ行き、現地の生活に飛び込むことでこそ理解できることだと思います。

燕市の国際交流事業の一つであります中学生海外派遣事業は、姉妹都市の生徒との相互交流と次世代を担う人材を育成することを目的として行っており、平成 23 年度は、市内中学生を姉妹都市アメリカ合衆国ウィスコンシン州シェボイガン市へ 8 人、オーストラリア・ブリスベンへ 11 人派遣しました。

派遣生のみなさんは、言葉の違い、慣れない生活様式の違いにとまどいながらも、難しい状況を自分の力で乗り越えたという自信がついたことでしょう。また、それぞれ目標を持ち、それに向かって努力した経験は、確実にみなさんの力になっていることでしょう。みなさんには、この自信や力を、これから未来を歩んでいくための大きな原動力にしていきたいと思っています。

今日では、教育、文化、スポーツ、経済活動など各方面で外国の人と交流する機会が多くなっています。世界がますますグローバル化していく中で、当市の国際交流事業を通じて市民のみなさんの国際理解が深まり、国際感覚が磨かれ、燕市のまちづくりの重要な要素になっていくことを切に希望するとともに、「日本一輝くまち燕市」の実現を目指して、これからも未来を担う子どもたちの育成に力を注いでまいりますので、ご協力をお願いいたします。



シェボイガン派遣生 体験報告 目次

最高の夏	燕中等教育学校 2年	飯塚達也	5
アメリカ	吉田中学校 3年	榎本さくら	7
アメリカでの素敵な旅	分水中学校 3年	近藤遼佳	9
80人	燕中等教育学校 2年	鈴木達也	11
アメリカ、ありがとう!	燕中学校 3年	橘 普	13
アメリカでの思い出	分水中学校 2年	塚本知夏	15
第二の故郷	燕中学校 2年	頓所幹康	17
楽しかったアメリカ	分水中学校 2年	中野礼王	19

★スナップショット



旅立ち



消防署で放水体験

シェボイガン
市長表敬訪問



英語のレッスン



パスタ作り



シカゴ市街見学

燕市国際交流事業(姉妹都市シェボイガン)日程表

月 日 (曜)	都市名等	現地時間	交通機関	内 容
7/26 (火)	燕三条駅集合	5 : 4 5	新幹線	※団員・保護者集合
	燕三条駅発	6 : 1 7		Max とき 3 0 0 号にて東京へ
	東京駅着	8 : 1 2	成田 E X	成田エクスプレス 1 3 号にて成田空港へ
	東京駅発	8 : 3 0		
	成田空港着	9 : 2 5		
	成田空港発	1 0 : 4 5		
	シカゴ着 (オヘア空港)	8 : 2 0	専用バス	[日付変更線]
	シェボイガン	1 2 : 0 0 1 5 : 0 0		姉妹都市シェボイガンへ ホストファミリーとの対面式 [ホームステイ]
7/27 (水) ~ 8/1 (月)	シェボイガン	終 日		歓迎昼食会、シェボイガン市長表敬訪問、 レイクランド大学で英語レッスン、消防 署・警察署見学、料理講座、リゾート施 設訪問、キャンプファイヤー ホストファミリーとともに過ごす [ホームステイ]
8/2 (火)	シェボイガン	夕 方		ホストファミリーへの感謝の会 (お別れ会) [ホームステイ]
8/3 (水)	シェボイガン シカゴ	9 : 3 0	専用バス	シカゴへ移動 着後、シカゴ市内見学 [ホテル泊]
8/4 (木)	シカゴ	1 0 : 0 0	専用バス	日本総領事館訪問 シカゴ周辺見学 [ホテル泊]
8/5 (金)	シカゴ発 (オヘア空港)	1 0 : 5 0		楽しかった思い出をお土産に空路、帰国 の途へ [機内泊]
8/6 (土)	成田空港着	1 3 : 4 5	成田 E X	[日付変更線]
	成田空港発	1 5 : 1 5		入国手続き 成田エクスプレス 3 2 号にて東京へ
	東京駅着	1 6 : 1 4	新幹線	Max とき 3 3 7 号にて燕三条駅へ 到着後、解散
	東京駅発	1 7 : 1 2		
	燕三条駅着	1 9 : 0 8		

最高の夏

燕中等教育学校 2年 飯塚 達也



「たった12日間だったけど最高のホームステイだった。」

僕は、11時間のフライトを経て、アメリカへ到着しました。初めての飛行機にわくわくしながら乗り込み、機内では映画を見たり、友達と話をしたりして、時差が14時間もあるというのに、一睡もできませんでした。

グラッチェン家でのホームステイが始まりました。そこは、会社の社長さんの Kevin というおじいちゃん、Gretchen というおばあちゃんと Rebekah というお母さんと Madilyn と Zion という子どもがいて、僕は、このホストファミリーと7日間を過ごしました。

ホームステイ1日目。アメリカの人たちは、初対面にも関わらず気さくに話しかけてくれて、とても優しくしてくれました。そして、10歳の Zion という女の子が「ヤッター！ヤッター！」と言う言葉を聞き、僕はうれしくなり、親しみを覚えました。

2日目は、チョコレート工場へ行った。そこで初めて使うドルに戸惑いながら、買い物をしました。次にシェボイガンの市長さんへ表敬訪問しました。思ったより若く、痩せている人でした。緊張しながら話を聞いて、市長さんからボールペンなどをいただきました。

3日目は、大学へ行き、日本人に会い、一緒にランチを食べながら話をしました。日本を離れて留学していることにすごいなあと思いました。その後、消防署を見学し、放水体験もさせてもらいました。

4日目は、ミシガン湖へ行ってビーチで遊びました。水はとても冷たく、緑色の藻が浮いていました。

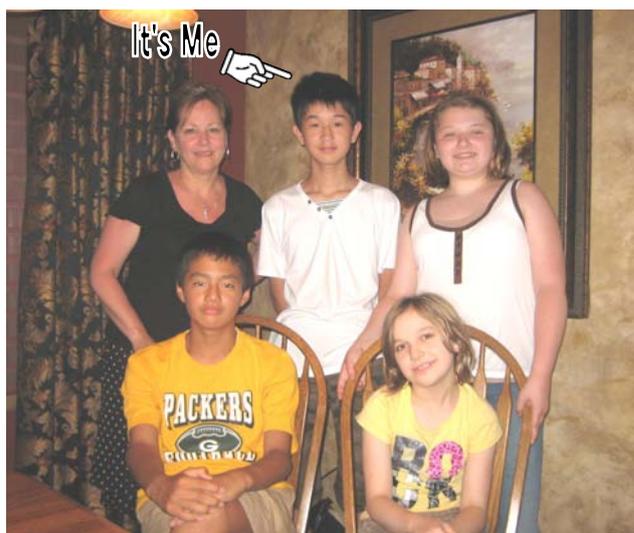
5日目は、ショッピングに野球観戦。暗くなると虫にさされるので、途中で帰ってしまいました。試合の結果が気になりました。

6日目は、ホストファミリーと教会へ行きました。教会につながっている建物が

Madilyn と Zion の学校だと教えてもらいました。

数日間だったけどホストファミリーと過ごした時間は僕にとってとても貴重な体験と有意義な海外派遣となりました。

今回の参加をきっかけに海外に関心を持ち、これからの人生に活かして行きたいと思います。



■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① できるだけ積極的に海外の人に話しかけるようにする。

目標② 簡単なあいさつや会話、自己紹介などが出来るようになる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 聞き取れなかった時たくさんありましたが達成できたと思います。

目標②について 始めはよく聞き取る事が出来ず簡単な受け答えしか出来ませんでしたか。泣き声と一緒に単語で話が出来ました。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

積極的に話しかけたけど聞き取れなかった事がたくさんありました。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

今回の経験をいかして、これから学術の授業をがんばりたいです。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

簡単な会話の受け答えがしかり出来るように頑張ってください。楽しく過ごしてきて欲しいと思います。

アメリカ

吉田中学校 3年 榎本 さくら



私がアメリカに行って思い出に残っていることは、ホストファミリーと過ごした日々です。一週間弱という短い期間でした。しかし、いろいろなところに連れて行ってもらい、たくさんのことを聞けたので、とても充実した一週間弱でした。

私は、ホストファミリーと会うまでとても不安でした。なぜなら、行く前に写真は貰っていたけれど、実際に会って見ないとどんな人か分からないからです。でも、会った瞬間、その気持ちは少し減りました。お母さんのロリさんと娘のティールさんが笑顔で迎えてくれたからです。私はその笑顔を見て英語を一生懸命話そうと思いました。でも、車に乗ってすぐに思いました。会話の内容が全く分からないのです。体を動かしていれば、行動でなんとなく分かったのですが、英語だけだと何となくも分からなくて、どうしようと思いました。アメリカに行って、アメリカの人と初めて自分の英語が出鱈目な英語だったということを思いました。これは、アメリカに行かないと分からないことでした。テストに使える英語だけでは駄目なんだなと感じさせられました。

私はホームステイ中に絵やアートを見に行きました。地元の風景画や写真がありました。また、立体的な絵があったり、自分の口を白黒で写真を撮り、そこに好きな色で塗ったものがあったりして驚きました。その人らしさが出ていて、個性を感じることができ、私も絵を描くことが好きなので、自分らしさが出るような絵を描いていきたいです。

このホームステイで私は少し自分が成長した気がします。なぜなら、私は他人に何か言われるのが怖くて、自分のことをなかなか話せないでいました。でも、アメリカで暮らしてみても、アメリカの人々を見て感じるものがありました。それは、ひとりひとりの考え方などを否定しないということです。周りには黒人や白人がいたり



する。体型もひとそれぞれです。日本はそういうのを気にしてしまいます。見た目だけで人を判断してしまいます。しかし、アメリカの人々は、見ただけで判断していない気がします。どこに行っても「ハロー」ばかりでした。私は思いました。アメリカの人々は人との付き合い方が上手だな、と。

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

失敗することを恐山ないで、積極的に、ホームステイ先の家族の人達と沢山お話をしたいです。

目標②

自分かでのるお手伝いをすかんびやりたいです。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 沢山 ホームステイ先の方達と話しができました。でも、最初はやっぱり短気してあやまつたら、全然大丈夫といわれたので、気が楽になりました。調子ながらでも、帰っていきくれたので、うれしかったです。

目標②について

お手伝いをすかんびやれたと思います。でも、手伝おうとすつたびことわられたけど、ありがとうといわれたのでうれしかったです。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

アメリカに行って、アメリカ人は自分自分というかんじでした。日本人にはあまりない考え方がした。こういうのを、かんじてきたかったので、今回参加して本当によかったと思います。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

将来のことはまだよく分かんないけど、勉強はいろいろやって、いろんなことを学びたいです。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

ホームステイをしたら、ホームステイ先の人達と何を使つても沢山話しをした方が、いいと思います。

アメリカでの素敵な旅

分水中学校 3年 近藤 遼 佳



私は、アメリカでとても良い経験をし、それは私にとって一生忘れられない宝物となりました。

出発当日まで、私は期待で胸がいっぱいでした。しかし、そんな期待であふれる気持ちが一気に変わってしまいう時が来たのです。

それは入国審査の時でした。全く英語が聞きとれず、添乗員さんに助けてもらうまで、しばらく入れなかったのです。それから私の頭の中は不安だらけになりました。今みたいにホストファミリーとも英語が通じないかもしれない…。人見知りする私がこんな長い間、アメリカで生活できるのかなあ…。

そんな不安だらけのまま、私はホストファミリーと対面しました。不安いっぱい緊張している私をホストファミリーは優しく迎えてくれました。その日からホームステイは始まりました。

ホストファミリーとは毎日いろんなことをして過ごしました。特に思い出に残っていることは、3日間キャンプに連れて行ってもらったことです。これはホストファミリーとの一番の思い出になりました。ホストファーザーはキャンプファイヤーの準備をしてくれたり、ホストマザーはおいしいご飯を作ってくれました。また、Jessie と Nikki とはマシュマロを焼いて食べたりしました。その味は忘れられません。そして、夜はいつも騒いで寝ました。その時はもう笑いが止まりませんでした。

その他にもここに書き切れないくらいたくさん思い出ができました。

そしていよいよお別れの日…。ホストファミリーから今まで一緒に過ごしたときに撮った写真のアルバムをもらいました。実は、初めて会った日もプレゼントに帽子をもらったり、服をもらったりしました。私は何もしていないのにホストファミリーには良くしてもらってばかりでした。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。不安がなくなってアメリカでの生活にも慣れ楽しくなったころに帰る日が来てしまって寂しかった

たです。

だから、いつかまたアメリカに行き、Scott、Cindy、Jessie、Nikki に会いたいです。その時には英語がペラペラになっているといいなあ。



■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 積極的に話す。はあかしがたり間違えるのを恐れず
しない。

目標② 英語の上達。ホストファミリーの話している英語を聞いて、
正しい英語を身につけたい。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 伝わるべきことはちゃんと伝わる事ができました。でも、英語が
分からない事も、積極的に話す回数ばかりがわからなかったかと思ふ事も英語を
勉強していけばよかったです。

目標②について ホストファミリーの人は私が英語があまり話せないのを知り、毎日
簡単に私が分かるように話してくれたので、簡単な英語はだいたい聞きとれるようになっ
ていますが、まだ"壁"です。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

ホストファミリーの人たちと楽しく過ごせたのが良かったです。
ただ、もともと英語を勉強していけばよかったです。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

いつ外国人と会い、もっといよ外、英語をもっと一歩上手に話せるようになりたい。
英語ペラペラになりたい!!

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

せめて、単語は勉強していた方がいいと思います。
あとは、何でも何とかあります!!

80人

燕中等教育学校 2年 鈴木 達也



80、この数は私がアメリカであった人の数です。
43/80、この数は行った先々で会った人たちです。みなさん優しく、楽しく、さまざまな事をやらせてくれたり、教えてくれたりしてくれました。

10/80は他のホームステイ先の人たちです。しっかりと話をしたりはしませんが、行く先々で面倒をみてくれて本当に助かりました。みなさん素晴らしい方々でした。

21/80は John の親戚です。パーティーで John の親戚がみんな集まっているところに行ったのですが、すごく歓迎してくれて、ボートに乗せてくれたり、いっしょにUNOをしたり、数時間の短い時間だけでしたが、すごく仲良しになることができました。すばらしい時間を過ごすことができました。

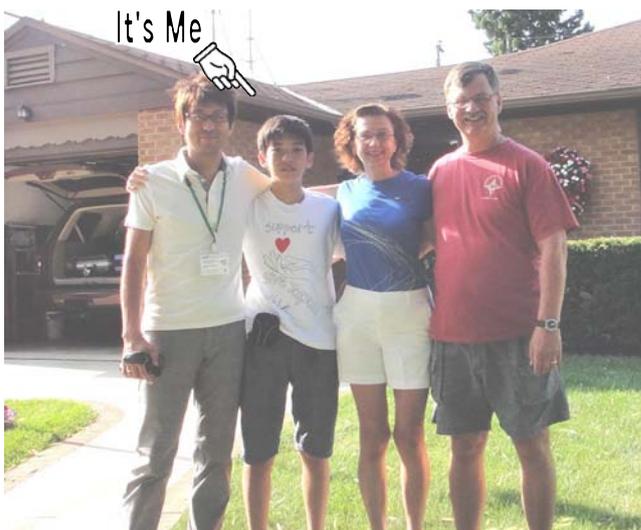
4/80はホームステイ先の同年代の人たちです。歳が近いので趣味も合い、盛り上がり遊んでしまいました。

2/80はホストファミリーです。ホストファミリーの John と Vicki とは会った初日から前に会ったことがあるかのように親しくなりました。Vicki は毎朝、私たちより早く起きて朝食を用意してくれたり、洗濯をしてくれたり、多くのことをしてくれました。

また、John は時間があれば店や祭り、スタジアムなどたくさんの所に連れて行ってくれ、いっしょに楽しい時間を過ごせました。

家ではUNOをしたり、TVを観たり、のんびりした時を過ごせました。

今回、いろいろな人と出会いましたが、今回だけで終わらせる気はないです。高校か大学か社会人、いつになるかわかりませんが、必ずもう一度会いにシェボイガンに行きます。その時は、英語を流暢にしゃべれるようになって、今回出会った人と今回



の派遣のことを昔話のように話せたら良いなと思います。そしてまた John の家にホームステイをさせてもらいたいです。

■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 自分の持て来てもあるけれど、アメリカに話すというのをアメリカでもしかりとやる。

目標② 新しい考え方を、向きの考え方をしっかりと学んでくる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について ほとんどの人とは話しかけておこう打ち溶け出来たけど一部の人とはできなかった。

目標②について しっかりと達成できた。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

良く話したりできていたと思う。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

死ぬまでにかかわらず、ジェボイカに帰る。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

最喜だからかならず行った方がいい。行かなければ必ず後悔する。

アメリカ、ありがとう！

燕中学校 3年 橘 普



僕たちはシェボイガン市に行きました。

一日目は初めての外国へ行くということで少し不安もありましたが、皆と話したら不安も無くなりました。

アメリカは少し暑かったけど、日本よりじめじめしてなくて過ごしやすかったです。

アメリカでは一日一日が初めての経験でした。例えば、アメリカに行ったことや、ホームステイやミシガン湖などです。中でも心に残っているのはメジャーリーグの試合と動物園、そしてゴルフ場です。

僕は今まで野球の試合を生で観たことがありませんでした。その初めての試合が本場のメジャーリーグでの試合です。僕たちが観たのはミルウォーキーブルーワーズの試合でした。このチームの投手は日本人で、試合は3-0で勝ちました。試合は7時からだったのですが、ホームステイ先のプレスティさんが4時半からグラウンドに入れるチケットを買ってくださり、グラウンドに入ることができました。観客席は上から見るととても広かったのですが、下から見ると上から見るより広く感じました。

動物園は初めてでとてもワクワクしていました。中は歩いて移動しますが、サファリパークのような車や汽車などでも移動できます。コウモリやヘビ、ワニ、クジャクなどがいてびっくりしました。様々な動物がいてとても楽しかったです。

最後はゴルフ場です。ゴルフはパターをはじめに練習しました。力加減が非常に難しく、なかなか思ったとおりにいきませんでした。次はドライバーで打つ練習をしました。真っ直ぐ飛ばすのは難しかったです。最後はアイアンの練習をしました。地面に置いた球を打つのは大変でした。空振りをしたけれど当たるととても気持ちよかったです。その後、実際に打ちました。上手く飛んだのがありうれしかったです。

このような、経験をできたことは、本当に良かったと思います。プレスティさん

には色々とお世話になりました。今度はその経験を活かし、いつか留学して恩返しをしたいと思います。

アメリカのみなさん、ありがとう！

Thank You Very Much !



■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 今回の震災の時、援助していただいたことに感謝し、
現状を伝える。

目標② できるだけ多くの人と話し、アメリカのことを学び、
日本を教え、一日一日を楽しむ。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 写真を見せて、津波後の状況を見せた。

目標②について たんぱんコミュニケーションをとり、毎日かたのしかた、
日本語を教えた。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

大体良かったのですが、積極的に話せばいいと思いました。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

アメリカに留学すること。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

伝えようとするのを伝える。

アメリカでの思い出

分水中学校 2年 塚本 知夏

私は今回の国際交流事業に参加して、心配なこともあったけど、楽しいことがたくさんありました。

一日目、燕三条駅に集合して、乗りつぎながら成田空港へ行き、シカゴのオヘア空港に行きました。飛行機に乗っている長い時間、楽しみでしたが不安が大きかったです。

空港からバスに乗って移動し、ホストファミリーに会いました。Cindyさんと Nikkiさんが迎えに来てくれて、車に乗って家に行きました。しかし、話していることが簡単なこと以外分からなくて、あまり会話ができませんでした。途中買い物に行ったのですが、少しの簡単な英語とジェスチャーで伝えるくらいしかできなくて、どうすればいいのかわかりませんでした。

家に着いてからは Nikkiさんと折り紙をしてとても楽しかったです。パソコンで長い文章などを翻訳してくれてとてもうれしかったです。会話ができて、英語をもっと勉強すればよかったと思いました。前に行った人たちで、そう報告書に書いている人がいたので知っていましたが、やっぱりそうなんだ、と改めて思いました。

夕食を食べて、その日は野球の観戦に連れて行ってくれました。ほかの観戦に来ていた人たちが話しかけてくれて、とてもおもしろかったです。サマータイムの影響で夜遅くでも明るかったことが驚きでした。

アメリカでの一日目はこんな感じでしたが、ほかにもボウリングに行ったり、大学で英語のレッスンや昼食を食べたり、消防署、警察署、ミシガン湖に行ったり、とてもたくさん行ったり遊んだりしたけれど、とても楽しくてあまり疲れませんでした。

ほかにも書けませんでした。いろいろな所に行きました。ホストファミリーとの時間は驚きや戸惑いがたくさんありましたが、とても楽しく過ごせて良かったです。別れる時、その分悲しかったです。



シカゴでは日本大使館に行って、お話を聞いたり、美術館やネイビーピアという所に行きました。

帰るまで、あっという間だったけど、貴重な体験ができて良かったです。アメリカの家庭の習慣や文化が分かったり、アメリカの人たちがとてもやさしかったり、英語の微妙なニュアンス、アメリカの雰囲気が肌で感じられたりと、自分にプラスになることがたくさんあって、本当に行って良かったです。

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 海外の日本と違う文化を見たい。

目標② ホームステイをさせてもらう家族の人とのコミュニケーションをとれるようにする。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 達成できた。日本と違うことがたくさんあって、とても新鮮だった。

目標②について コミュニケーションは少しはできたと思うけど、まだ単語が出てきてしまった時があった。でも、伝えられたときはすごくうれしかったし、楽しかった。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

やっぱり、もう少し英語を勉強すればよかった。けれど、なにか伝わっていたし、いい体験ができたなと思った。アメリカの人たちと遊んだりもできたり、楽しいことがたくさんあったなと思った。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

外国の人たちと、少しは交流できるようになりたい。英語をもう少し活用できるように経験を活かしたい。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

不安なこともあるかもしれないけど、楽しいことがたくさんあるので、がんばってください。

第二の故郷

燕中学校 2年 頓所 幹康

僕は小さい時からアメリカに行ってみたくて思っていて、このホームステイに参加しました。そして、僕はアメリカの人とバスケットボールをするという夢がありました。



僕は最初、自信を持ってホストファミリーとコミュニケーションをとれるか心配でした。でもいざ話してみるとホストファミリーは優しく喋ってくれました。

僕がこのホームステイで思い出に残ったことは三つあります。

一つ目は、アメリカの人とバスケットボールをするという夢が叶ったことです。ホストファミリーの家についてからすぐに近くの公園でアンソニーとバスケットをしました。アンソニーは中学生時代に少しだけバスケットをやっていただけなのにとても上手くてビックリしました。他の日にお父さんともバスケットをしました。お父さんはバスケット経験が全く無いのにとてもシュートが上手く、またビックリしました。

二つ目は、ゴルフをやったことです。僕はゴルフをやるのが初めてで、ハラハラした気持ちでやりました。やってみたらとても難しかったです。でもとても楽しかったです。あとゴルフカートを運転しました。ぶつかりそうになったけど何とかよけました。後から「本当は子どもは運転しちゃだめなんだよ」と言われてビックリしました。

三つ目はメジャーリーグを観に行ったことです。「ナイトゲームだよ」と言われたのに時間よりも早く来て何をやるんだろうと思ったら、球場の下に降りてブルペンに行ったり、ベンチに行ったりしました。球場は日本とまったく違って大きくて観客席もいっぱいありました。試合の時間になって試合を観ていると、日本と違ってボールがメチャメチャ速くて見えなかったです。得点が入ると他人同士でファンのみんなとハイタッチをしてとても盛り上がった試合になりました。

このホームステイで僕は何事にも自信をもってできるようになりました。このホス

トファミリーとの思い出を一生忘れず、次に会うときはもっと大人になって、自分でアメリカに行きたいです。



■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

ホストファミリーと楽しく2週間をすごしたいです。

目標②

すごしてでも多く英語を話せるようになりたいです。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

ホストファミリーと思い出深い楽しい2週間をすごすことができました。

目標②について

正直言うとそこまで話せなかったけど自分がわかる英語をわかりました。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

大変よくできました。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

留学をしようと思った。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

たのしんできてね♡

楽しかったアメリカ

分水中学校 2年 中野 礼王



僕はこの燕市国際交流事業に参加できて良かったです。最高に楽しかったです。

一つ目に楽しかったことは、アメフトのボールでキャッチボールをしたことです。アメフトのボールは真っ直ぐ投げるのが難しいとよく聞いていましたが、投げるコツが分かれば簡単でした。でもキャッチが難しかったです。でも向こうの人は余裕でキャッチしていて、スゴイと思いました。

アメフトの試合のTVを観れたことも良かったです。一人の選手がすごいパスを投げて、それをキャッチしたのもすごかったし、さらにキャッチのおかげでタッチダウンになったとき、「タッチダウンヤーハー」と叫びました。子どもたちが「ユーアークレイジー」と笑いながら言ってきました。僕も「ノー」と言いながら笑っていました。

二つ目に楽しかったことは、大きなプールで遊んだことです。流れるプールにウォータースライダーがあり、大きなバケツみたいなものに水が流れ落ちてたまるとひっくり返って水がバシャーと降ってくるのです。それらが良かったです。休まないでウォータースライダーに何回も乗ったり、降ってくる水で遊んでいたら、気づいたときには顔が真っ青になっていて、ビックリしました。ウォータースライダーに何回も乗って遊んでいたら施設の人が「またコイツか」という感じで見ていましたが、それを気にせず乗りました。その日はそれを最後にもうスライダーに乗りませんでした。

三つ目は、みんなでパスタ作りをしたことです。パスタをゆでる時に熱くて大変でした。僕の作ったパスタは辛さ以外に味がしなかったし、粉っぽくてまずかったです。そしてこれは関係ないことですが、パスタを作っているときに魚が書かれている帽子をもらいました。帽子は今、机の上に飾ってあります。

この三つ以外にも楽しい思い出があります。でもこの三つは今もときどき思い出す最高の思い出です。



楽しく過ごさせてくれたホームステイ先の家族のみなさん、費用を出してくれた両親、ありがとうございました。

■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① シェボイガンのことを少しは知りたかった。

目標② 向こうに帰る日時間はいかにかかり、や
ることはやっておく。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について できたと思う。

目標②について アメフトを一回だけでいいからやっ
ておきたかった。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

大変よくできました。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

英語のテストをがんばる。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

楽しんできてください。



ブリスベン派遣生 体験報告 目次

オーストラリアの思い出 ……	燕中学校3年	相場 ひいろ ……	23
SPECIAL DAYS ……	新潟大学附属 長岡中学校2年	雨木 綾 ……	25
Happy summer vacation ……	吉田中学校2年	小熊 のぞみ ……	27
一生の思い出 ……	分水中学校2年	小黒 俊一郎 ……	29
I like おーすとらりあ ……	分水中学校3年	桑原 希恵 ……	31
南十字星の下で ……	小池中学校3年	齋藤 倫 ……	33
海外派遣に参加してみて ……	分水中学校3年	齋藤 若菜 ……	35
Forever friends ……	分水中学校2年	杉山 麻海 ……	37
オーストラリアでの体験 ……	分水中学校2年	中島 樹 ……	39
Happy birthday in Australia ……	分水中学校3年	中島 幹 ……	41
I ♥ AUSTRALIA ……	燕北中学校2年	永田 侑美奈 ……	43

★スナップショット



旅立ち



ホストバディと
初対面



教室には電子黒板が！



英語のレッスン



みんなこんなに仲よし！



お礼にアトラクションを披露

燕市国際交流事業(オーストラリア・ブリスベン方面)日程表

月 日 (曜)	都市名等	現地時間	交通機関	内 容
7/27 (水)	燕三条駅集合 燕三条駅発 東京駅着 東京駅発 成田空港着 成田空港発	14:30 15:06 17:00 17:33 18:27 21:15	新幹線 成田EX JQ026便	※団員・保護者集合 Max とき330号にて東京へ 成田エクスプレス45号にて成田空港へ 大きな期待を胸に、空路ケアンズへ 〔機内泊〕
7/28 (木)	ケアンズ空港着 ケアンズ空港 ゴールドコースト空港	5:55 12:25 14:40	専用バス JQ967便	到着後、専用車に乗り換え 市内観光へ移動 ホリデイインケアンズにて朝食 ケアンズトロピカル動物園観光 空路ゴールドコーストへ 到着後、学校へ 学校到着 ホストファミリーと対面、各家庭へ 〔ホームステイ〕
7/29 (金) ~ 8/3 (水)	ブリスベン近郊	終日		学校体験、オリエンテーション 全校集会で紹介される。 ホストファミリーとともに過ごす。 ホームステイ 〔ホームステイ〕
8/4 (木)	ブリスベン近郊	終日		学校体験(英語のレッスン) ホームステイ最終日 〔ホームステイ〕
8/5 (金)	ブリスベン近郊 ゴールドコースト市内	15:00	専用車	学校体験 ホストファミリー、カレッジへの感謝の会 学校出発 ゴールドコースト市内へ移動 ホテル内レストランにて夕食 〔ホテル泊〕
8/6 (土)	ゴールドコースト市内 ゴールドコースト空港発 成田空港着 成田空港発 燕市着	10:55 19:00 20:30 25:30	専用バス JQ011便 貸切バス	ゴールドコースト空港へ移動 楽しかった思い出をお土産に空路、帰国 の途へ 入国手続き 貸切バスにて燕市へ 到着後、解散

オーストラリアの思い出

燕中学校 3年 相場 ひいろ



私は今回の海外派遣で初めてオーストラリアに行き、初めてホームステイを体験しました。英語が話せるか、伝わるかという不安と、ホストファミリーや学校の子たちはどんな人なのだろうかという緊張でいっぱいでした。しかしそんな不安や緊張はオーストラリアで生活していくごとに無くなっていきました。

ホストファミリーはお父さんのエイドリアン、お母さんのアニータ、長女のサバナ、次女のチェルシーで動物好きな素敵な家庭でした。ネコ1匹、インコ1羽、そしてニワトリ2羽、さらにカエル2匹とヘビ1匹飼っていて驚きました。

学校でも一緒に過ごしたチェルシーはフルーツが上手で、明るくて活発な女の子でした。どことなく私の妹に性格が似ているように思えて親近感がありました。サバナは大人っぽい女の子で、お菓子のマフィンや、オシャレなブレスレットを私に作ってくれました。エイドリアンとアニータにはいろんな所に連れて行ってもらって、すごく親切にしてもらいました。私自身も4人家族で姉妹なので似た環境が嬉しかったです。

ホストファミリーとの一番の思い出は、遊園地と動物園に行ったことです。絶叫系のアトラクションにたくさん乗ったり、カンガルーやコアラ、ホワイトタイガーなどを見たりと楽しい時間を過ごすことができました。

学校ではチェルシーやスクールバディのレイラから友達の輪が広がり、多くの子と友達になれました。オーストラリアの遊びや、バスケットボールをしてとっても楽しかったです。

現地の人と英語での会話は大変だったけれど、頑張っって伝わったときには嬉しくなりました。

最後ホストファミリーや友達との別れは泣いてしまうほど悲しかったです。私はもっと英語の勉強をしてまたみんなに会いに行きたいと思いました。



■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

積極的にコミュニケーションをとる。

目標②

友達を何人かつくる。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 最初のほうは緊張感がとれなくてなかなか自分から話せなかったが、いろいろな人と接するようになると話したいことが出てきて伝わるように考えて英語を使った。

目標②について ホストパティ、スクールパティから友達の輪が広がってたくさん友達が出来た。別れの時はとても悲しくなるほど親しくなった。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

初めてのオーストラリアで言葉が伝わらない時が何度もあって戸惑うことがあったけれど、伝えようと努力し頑張りました。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

もっともっと英語の勉強をして、またオーストラリアにいるホストファミリーや友達に会いに行ったり、他の外国にも行きたい。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

海外に行く前に少しでも英語の勉強しておくべき。

SPECIAL DAYS

新潟大学附属 長岡中学校 2年 雨木 綾



オーストラリアでの日々は、毎日が新鮮で輝いていた！楽しかった事・心細かった事・たくさんの思い出がいっぱい出来た。その中で一番悲しくて辛かったのは、別れの時だった。こんな年にもなりながら、鼻と目を真っ赤にして、声を上げて...つい泣いてしまった。そんな惜別の涙は、11日間の素晴らしい体験があったからだと思う。

飛行機・バスでの長旅を終え、今回お世話になる小学校に着くとホストの子どもたちが待っていた。みんなニコニコしてとてもかわいい。実は、私は極度の人見知りでなかなか人の輪に入っていけない性格。けれども、出会ったばかりの子どもたちの「HELLO！」の言葉で緊張がほぐれ、いつの間にか積極的に関わりをもてるようになっていた。

小学校では、私のホストマザーと同じ年の女の子 **Jade** が私を迎えてくれた。何でもいいからいっぱい話そうと思い、知っている単語をフルに使って話してみた。たどたどしい会話にも関わらず、二人と会話ができるととても嬉しかったし自信もついた。上手く伝わらない状況であるものの、伝えたい情熱が会話をもたせたのだと思う。

ホストファミリーの家は、それはそれは大きくたくさんの動物を飼っていて迫力満点だった。ホストファーザーとマザーはいつも親切に接してくれたし、**Jade** はなんやかんやと世話をしてくれた。お兄ちゃんは長身で大学生。弟くんはシャイだが遊んでくれ、家での生活は日本と変わらなく快適に過ごした。休みの日には、ゴールドコーストのビーチや街に連れて行ってくれ、平日の帰宅後には **SHOPPING** にも連れて行ってくれた。私にとってのホームステイは、とても楽しく素晴らしい「**SPECIAL DAYS!**」となった。

スクールバディの **Libby** とは一緒に校内を歩き行動を共にした。**Libby** は話すのが速く聞き取る事が追いつかず、私の劣等感は上昇。それでもこの状況に慣れてきて、雰囲気や話し方で何を言っているのかが判ってきた。そしたら、自然と会話が成り立ちランチを食べたり本を読んだり遊んだりどれもこれも楽しくなった。そう、上手く喋る事はさほど重要ではなかったのだ。拙い会話もみんな聞いてくれ受け入れてく

れた。お互いを理解しようとする事が大切であると感じた。

この **SPECIAL DAYS** は、新幹線みたいにあっという間に過ぎていき、別れの涙と共にかげがえのない宝物になったのだ。

最後にお世話になった市役所や旅行会社の方々ありがとうございました。感謝です！！

☆Thanks a lot! ☆



■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 積極性を身に付ける。

自らたくさんの人と関わり、コミュニケーションをとる。

目標② 柔軟性を身に付ける。

物事を多方向から見、柔軟に行動したり会話する。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について オーストラリアの学校では、たくさん生徒のみならず先生方と会話をすることができた。英語で言いたい事を伝えるのは大変だったけれど、良い経験になった。

目標②について 目標①でもあるように英語で思いを伝えるのは苦労した。自分の話していることが1回で伝わらなかったときは違う言い方やたくさん単語を使い話せて、柔軟性を身に付けた。

- 今回参加して、自己評価はどうか？

前の自分よりも成長できたと思う。たくさんの方々と関わることで今までに無かったものが身に付いたと思う。これから、どんどん生かしていければいい。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

高校生、大学生、社会人になるにつれて外国の方々とつながりが増えていくと思う。そこで、たくさん活用していきたい。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

他国に行くことは自分の世界を広げることに思っています。今までにない体験をしてください。

Happy summer vacation

吉田中学校 2年 小熊のぞみ

私はこの夏、オーストラリアにホームステイに行ってきました。いくつもいくつも思い出はありますが、そのうち特に印象的だった出来事をご紹介します。



一つ目は、私の第二の家族と言えるくらい仲良くなれた Caswells 一家との出会いです。一家は3人兄妹のいる5人家族で、兄弟のいない私にはとっても楽しい経験になりました。特に真ん中のお姉ちゃんの Charlotte とは本当の姉妹のように仲良くなれました。

二つ目は学校でのことです。学校でのバディは Charlotte で、その友達とたくさん遊んだり、勉強したりしました。学校で一番驚いたのは、休み時間とランチの時間です。帰宅までに3回休み時間があるのですが、1回目では軽く果物を食べます。2回目と3回目はランチで、11時頃と1時半頃の二度ご飯タイムになります。休み時間のたびに食べているのにバディの Charlotte がすごくやせててまたも驚きました。

三つ目は、日曜の夜、家の庭でやったバーベキューです。肉は二種類あって、一つはソーセージです。肉の味がしっかりして、日本じゃそうそう食べれなそうなおいしいソーセージでした。もう一つはカンガルーの肉です。私も最初は驚きましたが、すすめられて食べてみるとかみごたえがよく、本当においしかったです。その後、庭の奥でやったキャンプファイヤーでマシュマロを焼いて食べました。マシュマロそのものが少し甘かったけど、外がカリカリで中がトロトロでとてもおいしかったです。ただ、マシュマロを焼くのにそこらに落ちていた枝を使っていたのを見たときは、オーストラリア人てスゲーって思いました。

最後はお母さんと Charlotte と下の妹の Eloise とお土産を買うためにショッピングに行ったことです。「Smiggle」というお店が真ん中あたりにあったのですがどれも可愛くてお小遣いが足りなくなるんじゃないかと心配しました。他にもスーパーマーケットでチョコや本を買ったり、デパートみたいなところでコアラのぬいぐるみやペンやシールをみんなとふざけながら買うのはとても楽しかったです。



他にもたくさん思い出がありますが、一緒に思い出を作ってくれた家族のみんなや学校の人たちにありがとうを伝えたいです。

本当に本当にありがとうございました。

■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 学校やホームステイ先で人と本気で仲良くなる。

たこ焼きの人とコミュニケーションをとれるようになる。

目標② 旅行先で文化や動物や食物を肌で感じてみる。

オーストラリアの川を泳いでみる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 仲よしなれた。ホストファミリーは週末は一緒に仲良く
なれたと思う。

目標②について 旅行先、オーストラリアの住宅街や川を泳いでみるという目標があった。

学校のマリアは見ることができた。たけや動物園でたけを見た。カンガルー
の肉がおいしかった。カキは食べた。カキはおいしかった。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

5段階評価で言えば4くらい。理由は、いろんな人と一緒に生活して
楽しい。ホームステイができたけど、学校での授業中あまり
集中しなかった。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

人に自分から話しかけたり、新しい環境で友達を作ることが上手な
人になり、オーストラリアの人と接してこれたおりに人と関わりたい。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

電子辞書を持っていくと会話の楽になると思う。宿舎は2泊4日くらい
人なりの生活をする。楽しいことを覚えておくようにしたい。

一生の思い出

分水中学校 2年 小黒 俊一郎



この夏の海外派遣は、僕にとって貴重な体験になりました。11日という短い間だったのですが、オーストラリアではたくさんの出会いがあり、いい思い出ができました。

僕はオーストラリアにいた時、特に感じたことが3つありました。

第1は、家での生活の仕方です。オーストラリアは家の中でも靴を履いて過ごしています。最初にホストファミリーの家に行った時は、家族みんなが当たり前のように靴で家の中に入って行きましたが、日本では考えられないことなのでごく戸惑いました。しかし、日に日にそういうことにも慣れていったのでよかったです。また、バスルームには浴槽がなくシャワーだけで、その上、短時間で体を洗わなくてはならないのでとても大変でした。洗濯については、水の供給が悪いこともあって3日に1度の割合なのでごく驚きました。

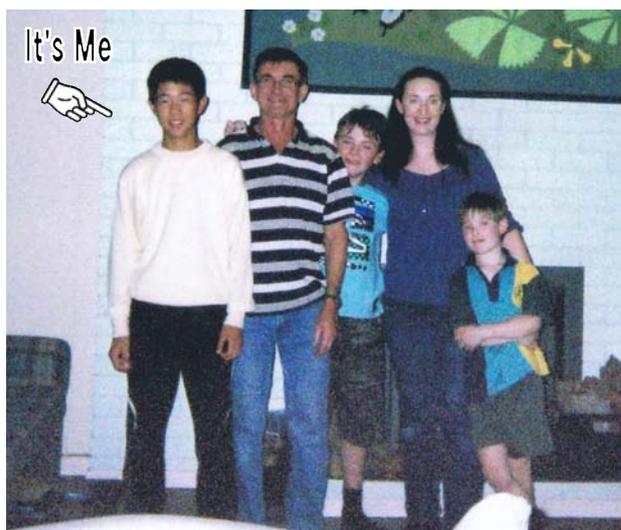
第2は、学校での生活です。学校は2時間目の後にモーニングティーというものがあります。その時間には、ホストファミリーが作ってくれたサンドイッチなどを食べたりしました。しかし、それよりも何より教室に黒板がないことに一番驚きました。授業中はパソコンやモニターなどを使って学習をしていました。教室に初めて入った時には、「なんで、こんなモニターがついているんだろう？」と思いました。それで、不思議に思って先生に英語で聞いてみたら「授業に使うものなんだよ。」と教えてくれました。その時初めて英語が通じたので、すごく会話をするのが楽しくなりました。それまでは、英語で話してもあまり通じなかったけれど、初めて英語が通じた時は自分の英語に自信が持てるようになりました。

第3は、人がすごく優しいところです。僕が英語が分からずに困っていた時、ホストファミリーがジェスチャーなどで丁寧に教えてくれました。また、何をしていたか分からずにいた時は、「ここは、こうするんだよ。」というように優しく教えてくれました。

いろいろなことを感じた11日間。あっという間の11日間。お別れの日はずごく悲しかったです。一緒に海外派遣に行った人やホストファミリーなどはみんな泣いて

いました。しかし、僕は最後のお別れの時は笑って別れようと思っていたので、涙をこらえ笑って別れました。バスに乗る最後のときに、ホストファミリーから「いつかまた、会いましょう！」と言われたので、僕はまたいつかブリスベンに行って、ホストファミリーと会いたいと思いました。

今回いろいろな人にお世話になって、無事海外派遣を終えることができました。これから先もこの感謝の気持ちを忘れないでいこうと思います。



■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① あまり辞書を使わないようにすることです。せっかくオーストラリアに行くのだから辞書を使わずに、ジェスチャーなどを使って会話をしたいです。

目標② 現地の人とたくさん話すことです。現地の人と少しでも多く話して自分の英語に役立てたいと思います。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 簡単な会話などは、あまり辞書を使わず、自分の力や、時にはジェスチャーなどを使って話をする事ができました。

目標②について これはあまり達成できませんでした。現地の人と話すとスピードが早くてあまり聞きとれませんでした。学校でやる英語だけではだめだと思いました。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

目標②についてはあまり良くなかったと思いますが、目標①は達成できたと思うので、自分では良かったと思います。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

今後目指したいことは、僕が大きくなったら自分だけでオーストラリアへ行って、またホストファミリーと一緒に暮らしてみたいです。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

海外派遣を希望する後輩へ特に言いたいことは、笑顔でホストファミリーと接してほしいということです。笑顔で接すると笑顔で返してくれるから仲良くなるという事です。

I like おーすとらりあ

分水中学校 3年 桑原 希恵



初めて乗った飛行機の中で不安でした。「オーストラリアの子たちと仲良くできるだろうか」、「私の英語は現地の人たちに通じるだろうか」などとすごく不安でした。

オーストラリアに着いてすぐホストファミリーに会うわけではなく、まずケアンズトロピカル動物園に行きました。その動物園はコアラやカンガルーがたくさんいて、オーストラリアっぽい感じがすごかったです。それからカンガルーは檻には入っておらず、放し飼いされているので、少し怖いですが、おかげですごく近くで写真が撮れました。

その後、ホストファミリーと会いました。ホストファミリーの家族は、父のピーターさん、母のウィンディさん、長女のローズさん、長男のニコラスさん、次女のエリザベスさんで、みんなフレンドリーに接してくれたのですが、簡単な質問しか答えることができませんでした。学校でも質問をされましたが、よく伝わらず困りました。そこで同じクラスの子に「ジェスチャーをつけるといいよ」とアドバイスをもらい、ジェスチャーをつけると不思議なことに伝えたいことがちゃんと伝わりました。その時はすごい達成感でした。

休日になるとピーターさんとウィンディさんとエリザベスさんと一緒にコアラパークというところに連れて行ってもらいました。コアラの歴史やコアラのクイズコーナーなどがあり、もちろん本物のコアラもいました。でもほとんど寝ていて少し残念でした。

その後はビーチに行きました。エリザベスさんのおばあちゃんも一緒でした。夕飯はハンバーガーショップで買ったすごく大きなハンバーガー。おいしかったけど…。

休みが終わると学校です。4日くらいするとみんなともすごく打ち解けることができました。大切なのは伝える気持ちなんだと、身をもって知ることができました。カタコトでも何でも言わなきゃはじまらないと教えてくれたのはみんなでした。今でも



その子たちとメールをしています。

ここには書き切れないくらいの楽しいことがオーストラリアではありました。近所の子と遊んだりしたし、映画も観たし、でっかいスーパーにも行ったし、ほかにもいっぱい楽しいことがありました。オーストラリアでの出来事は一生忘れることのできないかけがえのない思い出です。大人になったらまた行きたいと思います。

…ごはんがあんまりだけど。

■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

オーストラリアと日本の文化のちがいをたくさんみつけそれを日本で伝える。

目標②

オーストラリアでしかできないことをしてたくさんのおもしろい思い出をつくる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

たくさんみつけることができた。友だちに学校がはじめたら教えるように思った。

目標②について

オーストラリアの学校でたくさんのおもしろいことができた。
あとホストファミリーにコアラパークにつれていって

●今回参加して、自己評価はどうですか？

ニコラスさいこうだったので100点です。
トモガキたくさんできました！！

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

- 留学!! アメリカかイギリスに行きたい!!
- 通訳!!

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

- とにかく積極的にいけよと!

南十字星の下で

小池中学校 3年 齋藤 倫



この夏、僕は忘れることのできない経験をしました。オーストラリアで遊んだこと、学んだこと、みんなで大笑いしたこと、すべてが一生の思い出です。

7月27日、飛行機の中で、「自分が今までに学習した英語は、どのくらい通用するのかなあ。」と考えながらも、間違えてもいいから積極的に話そうと決めました。

空港に着いてから買い物をする時間があったので、「よし！挑戦だ！」と思い、お菓子を指さして店員さんに「What is it?」と聞き、「それはゼリービーンズよ。」と英語で答えてくれました。僕はそのとき、初めて外国で英語が通じたので感動しました。

その後、動物園へ行きました。カンガルーやコアラとの2ショットを撮ったり、珍しい生物をたくさん見て、驚いたり感動をしました。

そして、その日の夕方にホストファミリーと対面しました。ホストファミリーは、父のロスさん、母のデイブさん、子どもで兄のクリスくん、弟のキャメロンくん。この家族との出会いは11日間で最も印象に残りました。会って最初のころは、あまり話せなかったけど、家族みんなが優しくしてくれてだんだん話せるようになりました。

学校では、クリスくん、キャメロンくん、ホストバディや周りの気さくなみんなと楽しく過ごせました。みんなとバスケットをするときは、大笑いしていました。

ホストファミリーとは、スポーツをしたり、ゲームもしました。オーストラリアのブリスベンではバスケットボールとサッカーとラグビーが主に盛んでした。バスケットボールでは、クリスくんとキャメロンくんの二人が地元バスケットボールクラブに所属していました。一緒にやりましたが、とても敵いませんでした。また、夕食の時間になると、その日にあった出来事を話し、とても楽しく過ごしました。バーベキューをした日の夜は、「BBQ！BBQ！」と子どもたち2人と大はしゃぎしていました。

こうした、普段はできない楽しくて貴重な体験をしたので、僕はまた、ワーキング



ホリデーというものでオーストラリアにしばらく住むつもりなので、今よりもっと上手な英語で、ロスさん、デイブさん、大きくなった子どもたち2人と南十字星の下で、また再会したいです。

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

ブリスベンの生徒の方に日本の文化を覚えてもらう。(折り紙などを通して)

目標②

自分自身と英語を覚えて帰るときに、とくに生かす。英語を少しだけ得意にする。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

覚えてくれた。軒と二人の扇子や、消しゴムなどのお土産をあげて、日本語のあいさつを教えた。折り紙も作るを折った。達成は十分にできた。

目標②について

本物の英語を聞いた早いなと思った。少しだけ自分の英語を下手と思う。これから話した。お土産も達成できた。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

外国の文化を知れた。タイプライターの使い方も上手になった。これ。自分が勉強している英語が通じなかったところがあった。自分の勉強不足だ。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

オーストラリアのブリスベンを訪ねて行く。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

何かの文化を覚えてもらう。自分が覚えていくから、いっは、いっは、いっは、英語を話そう。

海外派遣に参加してみた

分水中学校 3年 齋藤 若菜



私は、夏休み中の7月27日から8月6日にかけてオーストラリアのブリスベンに派遣生として行ってきました。

私の派遣生としての抱負は、かたことの英語でも、ジェスチャーでもいいから自分の言いたいことを伝えることでした。

1日目は、移動で終了。

2日目は、朝食をケアンズのホテルで食べ、動物園へ行き、午後は飛行機でゴールドコースト市内へ移動し、夕方にホストファミリーと面会しました。私がお世話になったホストファミリーは、お父さんの Ashley お母さんの Annaliza 9歳の元気な女の子 Mikaila の3人家族でした。最初は緊張して「YES」「NO」と答えるので精一杯でした。「YES」「NO」とは言うけど、実際は何も分からずに言っていました。

3日目は、初の学校への登校でした。みんな優しくてかわいい元気な子達ばかりでした。学校生活で驚いたのは、休み時間、モーニングティー、お昼ご飯と3回も食事をとることです。そして、みんな食べる量が多いということです。私の半分くらいの身長の子でも私と同じくらいにたくさん食べていました。

4日目から10日目は3日目と同じように学校生活を送りました。最初は話すことも聞くこともうまくできませんでしたが、日がたつにつれネイティブな英語を聞きとれるようになっていくのが自分で分かりました。それが実感できるたびに、少しずつみんなに近づけていけるような気がして嬉しくなっていました。そして、家でもホストマザーが質問してきたことに少しジェスチャーをまぜながらですが対応することができました。通じた時は嬉しくて、来てよかったなと思いました。でも、楽しい時間はあっという間に過ぎ、ホームステイ最終日になりお別れの時になってしまいました。学校で仲良くなった子達が泣きながら「わか!!」と呼ぶたびに悲しくて涙がでまし

た。最後はバスの中から大きく手を振ってお別れをしました。

長いようで短かった11日間を振り返ってみて、実は英語が苦手だった私ですが、少しずつ話せる、聞けるという喜びを知るうちに、英語についての価値観が変わりました。意外といいかも…。という新たな考え方が生まれるきっかけを作ってくれた両親、燕市に感謝して、今後の進路に役立てていきたいです。



■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①	英語が苦手だけど、かたことでもジェスチャーでもいいから、この地域のみんなとフワッと話したい。 → それをきっかけにたくさん友達を作りたい
目標②	おいしいものを食べる!! やはり勉強とはいえ、せっかく海外に行くんだからオーストラリアのおいしいものをたくさん食べたい

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について	少しだけですけど伝えることができた。「蕪布はいいところですか」と聞かれて「はい」とだけ言えました。もっとちゃんと答えられたら良かったかなと思いました。
目標②について	はい、これはバッチリ達成できました。特にチキンが絶品でした。お肉系はどれもおいしかったです。かきかたです。がみきれませんでした。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

160点くらいです。色々足りないこともあったので低いです。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

英語が苦手なのですが、英検がんばって挑戦したいです。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

とてもいいですよ!!! 英語が苦手な私でもなんとかしたので興味のある人はぜひぜひ参加してみてください。

Forever friends

分水中学校 2年 杉山 麻海

学校に着いたらホストファミリーが出迎えてくれました。私がお世話になったのは Reinbott 家でした。お母さんのジュディはいつもニコニコしていて元気で明るい人でした。お父さんのダニエルも見た目も中身も優しい人でした。長男のジョエルは 19 歳で長身小顔でイケメンでした。長女のジェイドは何かあると助けてくれる優しい人でした。同い年とは思えなく、大人っぽかったです。次男のルークは中 1 でシャイな人でした。



学校はルークが通うローチデール・サウス・ステイトスクールへ行きました。小 1 クラス～中 1 クラスまであり、私は中 1 クラスでセカンドバディのニコルたちと一緒に勉強したり、遊んだりしました。ニコルは私の 1 つ下なのに大人っぽかったです。みんなが早口で私が困っている時ニコルが、丁寧に説明してくれる、優しい子でした。

学校では日本と違うところがいくつかありました。まず、授業中にフルーツを食べる時間がありました。先生の話を食べながら聞いて、私は怒られないかなぁ・・・と思ってました。

次に、ランチタイムが 2 回あることです。どちらとも家から持ってきたものを食べるのですが、チョコやポテトチップスなど、ランチっぽくないものもありました。

そして、この学校は中国語を勉強していました。初めてで発音が難しかったけど楽しかったです。

休みの日はホストファミリーとでかけました。ゴールドコーストで買い物してすごく楽しかったです。別荘にも行きました。景色がよくてすばらしいところでした。

そして、あっという間に一週間は過ぎて、お別れの日。ジョエルとは最後の日に会えませんでした。ジェイドは学校が朝早いので早起きして見送りました。学校へ行っ



てホストファミリーとセカンドバディと一緒に BBQ をしました。お母さんは「また、おいで。家族を連れてまたおいで」と言ってくれました。私たちがバスに乗るとき、みんな泣いて手を振ってくれました。

Forever friends とみんな言ってくれて嬉しかったです。とてもいい思い出になりました。

この貴重な経験は一生忘れません。将来上手に生かしたいと思います。

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① ... 自分からたくさん話しかける。

目標② ... 悪い態度をとらない。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について ... 学校ではよくできたと思う。
家ではいろいろあつぷつうです。

目標②について ... 自分的にできたと思う。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

積極性があまりなかったのが☆×2 中☆×2ぐらいです。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

積極性をつける。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

おけいなおものは持っていくないで、スーツケースは最小限の重さにしたほうが良いと思う。

オーストラリアでの体験

分水中学校 2年 中島 樹



この夏オーストラリアで過ごした 11 日間は、僕の一生の宝物になりました。

今回の体験で僕は、『言葉が伝わらなくても必死に伝える努力する!』という目標を持ち出発しましたが、いざ、オーストラリアに着くと『ちゃんと目標を達成できるのか?』と急に不安になり、ホストファミリーと対面し家に向かう道中もずっと緊張していました。ですが、家に着いてすぐホストファミリーの Jack と Tim が『一緒に Wii をしようよ!』と誘ってくれ、ゲームを通してコミュニケーションが取れたのか不安な気持ちはすぐに消えました。その後も Jack と Tim は兄弟の様に接してくれ、外ではトランポリンやサッカー、家ではゲームをして毎日遊びました。そしてホームステイ体験の中で Jack と Tim と一緒に遊んだ事は一番の思い出になりました。

僕がお世話になった Vernon さんのお宅は庭がとても広く野生の鳥や動物を飼っていて、野生のワラビーやコアラを見せてもらい一緒に写真も撮りました。オーストラリアでの食事は Vernon さんが日本食を作ってくれたり、朝食にはクランペットというパンも用意してくれたり、どれも美味しくて困る事はなかったです。

休日には、ブリスベンシティーや海へ連れて行ってもらいました。ブリスベンシティーはとても都会で綺麗な建造物がたくさんあり、川が流れていて美しい街並みでした。海もとても綺麗で気持ちがよかったです。

平日は Rochedale South State School という学校に通い授業を受けました。学校では Mateusz がスクールバディになってくれ一緒に授業を受けました。Mateusz は僕にとっても親切に接してくれ、すぐに仲良くなり授業中も一緒にふざけてしまった為、先生に怒られてしまった事もあります。

オーストラリアの学校では昼食の前にモーニングティーという軽食をとる時間があり、日本の学校との違いが印象に残りました。

あっという間の 11 日間で、帰国する日はとても寂しくなりみんなと別れるのがつらかったです。

この体験で海外の生活習慣や文化に触れる事ができ、オーストラリアが大好きになりました。僕の場合は遊びを通じてばかりでしたが、海外との交流が出来たと実感しています。出発前の目標も自分なりに達成できたのではないかと思います。



そう実感できるのも、毎日優しくしてくれた Vernon さんと兄弟の様に接してくれた Jack と Tim.そして、学校でわからない事を教えてくれた Mateuszのおかげです。

感謝の気持ちでいっぱいです。
『Thank you』

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 緊張すると声小さくなるので、大声で話すこと。
言葉が伝わらなくても会話をあきらめず伝はようと努力すること。

目標② 燕市の文化や特色を伝えること。
東日本大震災^{CCC}について、今日本で暮らしていることを伝えること。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 自分の意志をしっかりと伝えることはできた。自分
の方からも積極的にコミュニケーションをとることがで
きた。

目標②について 燕市の町並みを写真に撮ってアルバムにし
て持っているを紹介することができた。東日本大震災^{CCC}については伝
えることが難しかった。

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

ホストファミリーが分かりやすい英語でゆっくり話してくれたり、理
解しようと努めてくれたこともあってか、思っていた以上にコミュニケーシ
ョンがとりやすかったので自分の目標を達成することができた。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

できればまたオーストラリアに行きたい。そしてホストファミリ
ーに会いに行きたい。そのためには、もっと英語を勉強して
語学力を身につけたいと思う。

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

最初はとても緊張おれ、思い切って自分の方から話しかけて
みよと良いと思います。英語で自分の意志が伝わった時は大
すごくうれしいです。

Happy birthday in Australia

分水中学校 3年 中島 幹



「Happy birthday to you, Happy birthday to you.」とホストファミリーの方々が笑顔で僕の誕生日を祝ってくれました。この出来事をきっかけに僕とホストファミリーの間の緊張感はなくなり、このとても楽しかったオーストラリアへの海外派遣は、忘れることのできない大切な思い出となりました。

今回の体験は、僕にとっては初めてのホームステイで、不安と緊張でいっぱいでした。そのため、僕が決めた課題は、①たとえ言葉が通じなくても、積極的に話しかけること、②日本の文化をしっかりと伝え、オーストラリアの文化をしっかりと学ぶこと、です。この2つを心がけ、僕はオーストラリアへと旅立ちました。

最初、オーストラリアの地をふんだとき、日本にはない広大さを感じ、とても緊張しました。また、ホストファミリーの方々と出会ったときには、日本人にはない大らかさも感じました。その時、僕はオーストラリアでは日本にいたくさんのことを学べると思いました。そうして僕のオーストラリアの海外派遣は始まりました。

僕がオーストラリアで驚いたことは、オーストラリアの学校についてと、オーストラリアの食文化です。オーストラリアの学校は、僕も1週間体験しましたが、週に一回程度朝食サービスというものがあり、朝、学校でパンやジュースなどがもらえました。また、11時ごろにモーニングティーというランチがあり、1時半ごろには本当のランチがあり、計2回のランチがあります。日本の学校にはない習慣でランチは1日に2回あり、予想以上に満腹になりました。

オーストラリアの生活は、朝はシリアルなどの軽食ですませ、夜は主に肉類が中心でした。オーストラリアの方々は親切で、何回か夕飯にご飯を出してくれました。それはそれで美味しかったのですが、日本の米は美味しいと実感しました。

その他にも、オーストラリアの方々は親切で、僕たちに様々な貴重な体験をさせてくれました。



こうして僕の楽しいオーストラリア生活は終わっていきました。この体験で僕は日本とは違う、色々なものを見て、触れて、感じてとてもいい経験になったと同時に、忘れることのできない思い出になりました。I want to see my Australian family again.

■目標の達成と自己評価など

- 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 規則をしっかりと守り、ホストファミリーの方には、
礼儀正しく、接し日本のほじにかなうようにして
いきたい。

目標② アメリカの文化をしっかりと学び日本の文化をしか
り伝えて、充実した生活を送り、この経験を
ためにやるものにしていきたい。

- さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 英語でしっかりとあいさつをした

目標②について 日本の米はおいしいことをしっかりと英語で
伝えることができた

- 今回参加して、自己評価はどうですか？

英語が下手なりに、しっかりと上手にできるよう
話した。がんばった。

- 今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

英語のテストでいい点がとれるようになりたい

- 今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

英語が通じなくても、あきらめずに、がんばってください。

I ♥ AUSTRALIA

燕北中学校 2年 永田 侑美奈



私は、この夏オーストラリアのブリスベンに派遣生として行ってきました。そこで学んだ事が大切な思い出になりました。

初めての飛行機に乗り、ケアンズの空港に到着しました。空港に到着した後ホテルに行き、朝食を食べました。その後、CAIRNS Tropical Zooに行きました。Zooでは、コアラを抱くという、貴重な体験をしました。カンガルーを見て、触り、写真を撮りました。

午後に、学校に行って、ホストファミリーと対面しました。どんな人だろう？と思って待っているととても優しくそうな女の子とお母さんでした。緊張しながら家に入ると、みんな「Hi!」と言ってくれました。その日の夕食は白ご飯でした。しかも、箸まで出してくれました。夕食が終わり、部屋に戻ると、バディの Elizabeth と話をしました。最初は言っていることが全く分かりませんでした。でも、日が経つにつれて、言っている言葉が分かるようになりました。

次の日学校に行き、私のスクールバディの Bailee とウォーキングツアーをしました。その後私たちは授業を受けました。授業の途中で Bailee に「塗り絵する？」と聞かれたので、私は「Yes」と答えました。お絵かきをしていたら、Bailee が「Very well!」と言ってくれました。うれしかったです。

休日には、Koala park や BBQ、Beach に連れて行ってもらいました。Koala park では、小さいコアラが丸くなって寝ていました。BBQ では、コンロの火がつかないというハプニングがありました。Beach では、大きいハンバーガーを食べました。

学校最終日の日に修了証書とオーストラリアの筆箱をもらいました。ステージの上で「ふるさと」の歌を歌いました。日本語で歌ったけどみんなよろこんでくれて良かったです。その後、ホストバディとスクールバディと BBQ をしました。そこで、お



昼ご飯を食べて、AKB48 のヘビーローテーションをおどりました。とても緊張したけど楽しく出来て良かったです。

オーストラリアでの良い思い出がたくさん出来て良かったです。

—END—

■目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 今まで知らなかった言葉を覚えて、帰国した時は、
すらすら英語を話せるようにすること。

目標② オーストラリアへいって多くの文化を身に付ける
こと。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について すらすら話せるかどうかは分からなけれど、知らない
言葉をたくさん覚えることができた。達成出来た。

目標②について くつをぬがないこと、食器を持たないことなどが
分かった。達成出来た。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

自分の気持ちを素直に伝えることが出来なかったけど、ホストファミリーが
聞いてくれてくれた。自己評価は90点！

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

もう一回オーストラリアに行きたい。
英語を話して他の国に行きたい。

●今後、海外派遣を希望する後輩へアドバイスを。

英語をメッチャ勉強したほうがいいと思う。
持ち物は最少限にしたほうがいいと思う。

Q1 海外派遣全体を通じての印象はどうでしたか？

- ①よかった・・・8人 ②まあまあよかった・・・0人
 ③あまりよくなかった・・・0人 ④悪かった・・・0人

<p>●その理由は？ (具体的に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろかった。 ・アメリカに行けて、その国のことが少しは分かったと思うし、何度か打ち合わせがあって安心して行けたと思うから。 ・とにかくすごく楽しくて、あっという間に終わってしまったし、もっとアメリカにいたいと思えたから。 ・自分が出せないところも気楽に出せた。 ・アメリカの人と話たり生活することで外国の良いところなどが分かって良かった。 ・ホームステイ先の人が優しくかったから。 ・おもしろかったからです。 ・ホームステイ先の人と打ち解けて毎日楽しく過ごしていたし、他の人ともボーリングをしたりして仲良くなっていたので、楽しむことができた。毎日ひまにならないくらいのスケジュールで充実していた。
---------------------------	--

Q2 日程についてはどうでしたか？

- ①きつかった・・・0人 ②ややきつかった・・・4人
 ③やや楽だった・・・1人 ④楽だった・・・3人

<p>●体調や精神面で 特につらいと感じたときはありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機の中 ・最初にホストファミリーと会ったときに、どうすればいいのかあまりに分からなくて、ホストファミリーの人たちとなじむのに少し時間がかかったこと（そこまでつらくないけど）。 ・入国審査で英語が聞きとれず、ずっと入れなかったときに、不安でつらかった。 ・沢山歩いたこと。本当に洋食ばかりだったこと。 ・14時間も時間が違うので現地での生活がつらいと感じた。 ・シカゴのお店で相手の言っていることが分からなくて…
--	---

Q3 期間はどうでしたか？

- ①長かった・・・0人 ②やや長かった・・・0人
 ③ちょうどいい・・・0人 ④やや短かった・・・3人
 ⑤短かった・・・5人

Q4 海外派遣の中で、よかった場所や事柄は何ですか？ 特によかった場所◎一つ、その他よかった場所○に記入してください。○はいくつでも結構です！また、逆によくなかった場所や事柄はありましたか？ あれば×に記入してください。×もいくつでも結構です。

	場所や事柄	◎	○	×
全員が共通のもの	シェboygan市街		1	
	ホームステイの家	4	2	
	ボウリング場		1	
	レイクランド大学	1		
	シェboygan消防署		1	
	パムさんの農場	1	3	
	Blue harbor ウォーターパーク		2	
	パスタを作ったこと			1
	シカゴ市街		5	
	ウィリス・タワー		2	
	ユニオン・ステーション(駅)			2
	オバマ大統領の家			2
	モハメド・アリの家			1
上記以外のこと	Piggly Wiggly (有名スーパー)		2	
	ミシガン湖		2	
	州立公園		1	
	ライブ	1		
	高校		1	
	ホームステイ先の人全員で食事	1		
	ゴルフ場		1	
	ホストの親戚宅		1	
	メジャーリーグ観戦		1	
	動物園		1	
	行ったところすべて		1	
ティール		2		

Q5 ホームステイの期間はどうでしたか？

- ①長かった・・・0人 ②やや長かった・・・0人
 ③ちょうどいい・・・1人 ④やや短かった・・・2人
 ⑤短かった・・・5人

Q6 ホームステイでよかったこと、逆によくなかったり、とまどったりしたことはありませんか？ あれば具体的に書いてください。

【よかったことは？】

- ・ブドウの種がなくてそのまま食える。
- ・ホストファミリーの人たちと仲良くなれたし、アメリカの文化を知ることができたこと。
- ・ホストファミリーがすごく優しくかったこと。2人で派遣だったこと。
- ・いろんな所に連れて行ってもらったこと。
- ・相手の言っていることが分かったこと。
- ・ゴルフ
- ・シリアルの数が多かった。地下が良かった。
- ・観光では味わえないことが味わえた。向こうの人と本当に仲良くなれた。

【よくなかったり、とまどったことは？】

- ・友達が来たときに、寝てもいいのかどうか分からなかった。
- ・いろんなものをくれて、申し訳なかった。
- ・相手の言っていることがまったく分からなかったこと。
- ・店員と15分くらい沈黙していた。

Q7 海外派遣(事前準備を含む)の中で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどはありましたか？ あれば具体的に書いてください。

- ・パスポートを持っているか不安だった。
- ・お金のことで、買い物のが不安だった。
- ・人が巨大

Q8 海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- ・期間を18日くらいにしてほしい。
- ・もう少し期間を長くしてほしい。
- ・もっともっとアメリカにいたかった。
- ・楽しかったです。もっといたかったです。
- ・もっと期間を長く！！
- ・最高だった。

*ホストファミリーへのお土産は何を用意していききましたか？参考に教えてください。

扇子 / 手ぬぐい / ふきん / ハンカチ / けん玉 / 折り紙 /
習字道具 / 一筆せん / 神社のお守り(家族全員) / 筆記用具全て /
祖母の手作りの「かぶと」と「おひなさま」 / 花火

Q1 海外派遣全体を通じての印象はどうでしたか？

- ①よかった・・・・・・・・・・11人 ②まあまあよかった・・・・・・・・・・0人
 ③あまりよくなかった・・・・・・・・・・0人 ④悪かった・・・・・・・・・・0人

<p>●その理由は？ (具体的に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とても勉強になったからです。でも、本場の英語とは違うというオーストラリアの言葉のなまりは聞き取りにくかったです。 ・外国に行き、たくさんの体験をし、素晴らしい思い出ができたから。 ・いい人がたくさんいた。ホストファミリーが仲良く、私にすごく優しくしてくれた。 ・休みの日があったから、ホストファミリーと過ごせた。オーストラリアの学校に行けた。 ・学校に行ったことで友達がたくさんできたので◎ 家では優しく接してもらえて、いろんなところへ連れてってもらったので◎ ・ホストファミリーが優しかった。それと一人ひとりの学校の生徒がみんな優しく接してくれてうれしかった。 ・ホストファミリーの Jack と Tim と毎日遊んだりしたこと。 ・オーストラリアと日本の文化の違いを学べたから。 ・外国の文化をしっかりと学べたから。 ・楽しかった。おかしがおいしかった。
---------------------------	---

Q2 日程についてはどうでしたか？

- ①きつかった・・・・・・・・・・1人 ②ややきつかった・・・・・・・・・・3人
 ③やや楽だった・・・・・・・・・・4人 ④楽だった・・・・・・・・・・3人

<p>●体調や精神面で特につらいと感じたときはありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリー、バディとのコミュニケーションがつかったです。うまく言葉が伝わらず、1人で悩んだりしてました。 ・楽だったけど飛行機のおりる時がきつかった。 ・オーストラリアでは、8月は冬だけど寒暖の差が激しかった。朝と夜が寒く、昼が暖かいので、1日目体調をくずした。 ・たまにまちがって英単語を日本語にして言ってしまったことがあった。 ・ねむいのに寝れなかった。 ・肉が固かった。
-----------------------------------	---

Q3 期間はどうでしたか？

- ①長かった・・・・・・・・・・1人 ②やや長かった・・・・・・・・・・1人
 ③ちょうどいい・・・・・・・・・・4人 ④やや短かった・・・・・・・・・・4人
 ⑤短かった・・・・・・・・・・1人

Q4 海外派遣の中で、よかった場所や事柄は何ですか？ 特によかった場所に◎一つ、その他よかったに場所○を記入してください。○はいくつでも結構です！また、逆によくなかった場所や事柄はありましたか？ あれば×に記入してください。×もいくつでも結構です。

	場所や事柄	◎	○	×
全 国 で 通 じ る こ と	ホームステイ		1	
	ホストファミリー	1		
	野生のコアラやワラビーを見れたこと。		1	
	トロピカルZOO（動物園）		6	
	学校	5	4	
	学校みんな		1	
	先生たちがとても良かった。		1	
	たくさんの人と友達になれた。	1		
	みんながやさしかった。		1	
	期間が少し短かった。			1
	マナー			1
	家でのコミュニケーション		1	
	コミュニケーションの取り方			1
	飛行機			2
	空港		1	
	バス		1	1
	空気		1	
	オーストラリアの自然が見れたこと。		1	
	料理	1		
	食べ物がおいしかった。		1	
米がまずい			1	
空港で食べた弁当。石が入っていた。			1	
ごはんが多い			1	
上 記 以 外 の こ と	店の商品			1
	シャワーがいきなり冷たくなったこと。			1
	スーパーマーケット		1	
	サウスバンク		1	
	ドリームワールド（遊園地&動物園）	1		
	アウトドアスポーツ		1	
	ホストファミリーらとのバーベキュー	1	1	
	Jack と Tim と遊んだこと。	1		
	ゴールドコーストの海		1	
	ゴールドコーストのショッピング街		1	
	海の砂浜がよかった。		1	
	ホストファミリーと行ったビーチ		1	

Q5 ホームステイの期間は怎么样了か？

- ①長かった・・・0人 ②やや長かった・・・2人
③ちょうどいい・・・4人 ④やや短かった・・・4人
⑤短かった・・・1人

Q6 ホームステイでよかったこと、逆によくなかったり、とまどったりしたことはありましたか？ あれば具体的に書いてください。

【よかったことは？】

- ・学校での日常的な生活、会話
- ・オーストラリアの生活を肌で感じることができた。
- ・ホストファミリーが日本のおもちゃやアニメのことを知ってたので話のたねになった。英和辞書みたいなのを借りてきてくれて会話が楽だった。
- ・みんなやさしい。
- ・学校に行けたこと。
- ・毎日が楽しかったこと。
- ・オーストラリアの生活を学べたこと。
- ・オーストラリアの文化をしっかり学べた。
- ・土日どっか連れてってくれた！！
- ・ニコラスかっこいい！！

【よくなかったり、とまどったことは？】

- ・やっぱりコミュニケーション
- ・話すときにとっても緊張した。1人でホームステイをやってみたかった。
- ・学校の人の声が大きすぎて少し耳が痛くなった。
- ・朝のイライラと学校以外の生活。
- ・早く寝すぎ。
- ・外出が少なかった。
- ・英語があまり通じなかった。
- ・歩くのが早い。しゃべるのも早い。

Q7 海外派遣(事前準備を含む)の中で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどはありましたか？ あれば具体的に書いてください。

- ・お風呂です。全然違って一番最初にシャワーを浴びることになったときに、いきなり熱湯が出てきてびっくりしてすねをぶったのは痛かったです。
- ・ご飯を食べるタイミング
- ・英語が分かるかどうか不安だった。最初の日は不安だったけど、日が経つにつれて分かるようになってきた。
- ・飛行機は墜落しないかな。
- ・たまにまちがって英単語を日本語にして言ってしまったことがあった。
- ・言葉を伝えること。
- ・オーストラリアの人はみんな足が早い。
- ・チョコがみんな甘かった。太った…。

Q8 海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- ・とまどうこともありました。燕市のこの海外派遣事業にかかわることができて良かったです。ありがとうございました!!!
- ・とっても良い思い出ができた。
- ・学校に行くというのはいいことだと思う。
- ・本当にいい体験ができました。
- ・貴重な体験ができた。
- ・いい体験ができた。
- ・他の海外も増やしてほしい。
- ・他の国も行きたい。

Q9 ROCHE DALE SOUTH STATE SCHOOLでの学校体験、英語レッスンやスクールバディと交流した印象はどうでしたか?

- ①よかった・・・・・・・・・・10人 ②まあまあよかった・・・・・・・・・・1人
 ③あまりよくなかった・・・・・・・・0人 ④悪かった・・・・・・・・・・0人

<p>●その理由は? (具体的に)</p>	<p>①の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体験が楽しかったです。たくさんの子たちとふれ合うことができて、もうすごいいよかったです!!! ・日本の学校ではできないことを味わえた。たくさんの友達ができうれしかった。 ・バディが自分の友達を紹介してくれてクラスのたくさんの人と関わられた。授業が楽しかった。 ・分からなくて聞き返すとゆっくり言ってくれた。 ・一緒に遊んで勉強できたので◎ ・日本と違うところを見つけられた。 ・生徒がフレンドリーだった。 ・2ndバディだったけど優しく丁寧にしてくれたことです。 ・外国の学校の様子をしっかりと学べた。 ・学校のみんなが明るく接してくれて、私が英語を理解できなかったときにはホストバディやスクールバディがフォローしてくれて楽しい学校体験をすることができた。 ・たくさん友達ができただけで別れるのがいやだった。 <p>②の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの授業をしっかりと学べた。
---------------------------	---

***ホストファミリーへのお土産は何を用意していきましたか?参考に教えてください。**

扇子 / うちわ / 手作りうちわキット / 手ぬぐい / 風鈴 / 折り紙 / はし / ストラップ(和風) / トキのおきもの / 消せるボールペン / 蛍光ペン / カラーボールペン / 消しゴム / キャラクターティッシュ / キティ®のペンケース / 愛情♥

◇広報紙で紹介した本年度の国際交流事業（広報つばめ 9月15日号掲載）



オーストラリア
ブリスベン
派遣生（11人）
（敬称略）

【派遣期間】
7月27日(水)～8月6日(土)

●相場 ひいろ(燕中3年)
ホストファミリーと遊園地や動物園、海に行って最高の思い出ができました。また会いに行きたいです。

●雨木綾
（新大附属長岡中2年）
学校に訪問したりホームステイをしたり、オーストラリアの冒険は忘れられない旅になりました。

●小熊のぞみ(吉田中2年)
土曜日にわたしはホストファミリーの人たちとパーベキューをしました。カン

ガルーの肉を食べたのが印象に残りました。

●小黒俊一郎(分水中2年)
土曜日にホストファミリーと一緒に海へ行き、タイムと一緒にたこを揚げました。風が強かったので、たこが高く昇りました。

●桑原 希恵(分水中3年)
ブリスベンの動物園は日本の動物園と違って、オーストラリアの動物がたくさんいて、新鮮な感じがしました。

●齋藤 倫(小池中3年)
家での夕食でパーベキューをしたとき、キャメロンくんやクリスくん和大家いしました。みんなと仲良く過ごしました。

●齋藤 若菜(分水中3年)
学校体験が楽しかったです。みんなと仲良く最終日まで遊べて良かったです。

●杉山 麻海(分水中2年)
学校ではたくさんの方たちと遊べて良かったです。ゴルフコースは都会な感じで、とっても楽しかったです。

I♥(Love) オーストラリア！

●中島 樹(分水中2年)
ホストファミリーのジャックとタイムと遊んだことと、学校でのマシユーズとの生活が印象に残りました。

●中島 幹(分水中3年)
日曜日にピクニックに行き、誕生日を祝ってもらってうれしかった。とても、いい経験になった。

●永田 侑美奈(燕北中2年)
オーストラリアの学校では、みんなが優しく良かった。ホストバディとみんな良く、友達がたくさんできました。



【8月4日】派遣生だけの特別英語授業。ゲームを交えた楽しい授業で、オーストラリアの歴史まで学ぶことができました。



【7月29日】学校体験初日のオリエンテーションでスクールバディと対面し、いよいよ学校生活が始まりました。少し緊張気味です。



【8月5日】別れの日、友達や先生方との別れの淋しさで涙目になりながら記念撮影。「皆さん、本当にありがとうございました！」



【8月1日】さっそく友達ができました。ホストファミリーのお母さんのお手作りの弁当を持って、みんなでお弁当。美味しい！



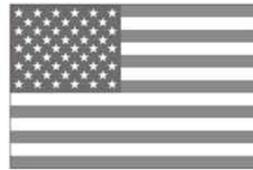
平成 23 年度 燕市国際交流事業

驚き！ 喜び！ そして涙…

ひと夏の感動体験記

今年の国際交流事業では、姉妹都市シェボイガンへ 8 人、オーストラリアのブリスベンへ 11 人の中学生を派遣しました。

貴重な体験をした海外派遣生の皆さん 19 人の声を紹介します。



アメリカ合衆国
シェボイガン
派遣生 (8 人)
(敬称略)

【派遣期間】
7 月 26 日(火)～ 8 月 6 日(土)

● **飯塚 達也(燕中等 2 年)**
ホームステイ先の家族と庭で食事をしたり、遊んだりしたことが楽しく、向こうの家の人はとても優しくあった。

● **榎本 さくら(吉田中 3 年)**
わたしはアメリカに行き、人を見た目で判断しないところが日本と違う気がしました。アメリカ人は、人付き合いが上手でした。

● **近藤 遼佳(分水中 3 年)**
ホームステイは楽しすぎて、あっという間に終わってしまったように感じまし

● **頼所 幹康(燕中 2 年)**
アメリカ人は優しくて何かがあると「ありがとう」と言ってくれて、そのあと「どういたしまして」を言っていました。

● **中野 礼王(分水中 2 年)**
アメリカの人はとても明るかったし、建物はとても大きかった。大好きなアメフトの試合をテレビで見ることができて良かった。

た。だから、またいつか会いに行きたいです。

● **鈴木 達也(燕中等 2 年)**
アメリカは、土地も建物も気候も人も何もかもが高かった。必ずシェボイガンに住もうと思うほどの最高の旅だった。

● **橋 普(燕中 3 年)**
アメリカは、みんなが優しくて楽しかった。今回は恩を受けたので、お返しするために、もう一度アメリカに留学したいです。

● **塚本 知夏(分水中 2 年)**
ホストファミリーの人たちがとても親切にしてくれて、楽しい時間を過ごすことができて良かったと思います。

【7月28日】シェボイガンの平穏な日々を守る消防署を見学し、みんなで放水を体験。びしょ濡れになったのは誰？



【7月27日】燕市を代表してシェボイガン市長ボブ・ライアンさんを表敬訪問し、記念撮影。みんな立派な使節団です！



【8月3日】シカゴ市街をバックに記念撮影。国土だけでなく、人々の心の広さも実感し、みんな一歩成長できました。



【7月28日】レイクランド大学の英語のレッスンを。トランプやゲームを使いながら楽しく学ぶことができました。



随員職員のコメント



▲シェボイガン随員
川上 公一
(地域振興課主任)

異なる生活習慣による病気やホームシックになる生徒はおらず、大過なく帰国できたことが何よりでした。

人は重ねた経験の分だけ心に免疫を作り、課題を乗り越える力を備え、強く成長します。

快適さと便利さを追求する現代社会、また、ネット、ゲーム等に構築された仮想現実の世界が広がる日常の中では、リアルな経験に乏しくなりがちです。

当事業にエントリーした若者たちは、初めての土地、実用英語という困難を伴う状況に身を投じ、今この時だけしかできないリアルな経験をえました。この経験は、心の免疫として機能し、今後彼らが歩む人生の中で起こりうる様々な困難、国際的な課題に直面した際、それを乗り越えるうえでの非常に大きく、強い力として必ず花開く（FLOURISH）であろうと私は信じます。

旅先で私たちは多くの方々に出会い、あふれるほどの温かい気持ちを注いでいただきました。シェボイガン市が掲げる“Spirit on the lake”。都合よく訳せば“ミシガン湖に培われた広い心”でしょうか。今回の交流の中で、国土の広さや湖の広さに捕らわれない広い心を強く感じ取れたのは私だけではないと思います。派遣生のみなさん、ぜひこの恩をお世話になった方々、もしくは世界に向けてお返ししましょう！そこから温かく広い心の輪を世界中に繋げる国際人の第一歩が始まります！

今回、オーストラリアで訪問した学校は小学校でした。派遣生から見ると少し幼い無邪気な子どもたち。でも、そのおかげか派遣生は早い頃から現地生活に打ち解けることができたように思います。とはいえ、慣れない環境や思うようにコミュニケーションが取れないもどかしさ、様々な困難がありました。それらを自らの力で乗り越えていった彼らに、私は頼もしさを感じました。また、学校や学年の異なる派遣生同士が互いに助け合う姿が印象的でした。

今回の派遣期間は、滞在日数でいえば1週間程度の短い期間でしたが、派遣生は多くの人と出会い、様々な体験をしました。それは、失敗も含めて彼らの大きな財産であり、今は実感することがなくとも、これから歩む人生の折々で道標となるはずで

国際化という英語力と直結しがちですが、基本は、人としての優しさを持って互いの差異を認め合うことだというのが、今回の経験で私が得たひとつの考えです。言葉は単なるコミュニケーションツールではありません。それを使う人々の文化です。それぞれの気候風土や歴史的背景によって培われた言葉を学ぶことは、自身の国や郷土の文化を知り、他国の文化を知ることかもしれません。国際人としての第一歩を踏み出した派遣生の皆さん、たくさんの優しさと豊かな文化を身につけてください。



▲ブリスベン随員
松島 悦子
(生涯学習課主任)

(2011年10月)

★燕市の姉妹都市の位置

- ・アメリカ合衆国 Wisconsin 州 シェボイガン市
- ・アメリカ合衆国 Michigan 州 ダンディ村

シェボイガン市の位置

ダンディ村の位置



★オーストラリア・ブリスベンの位置



